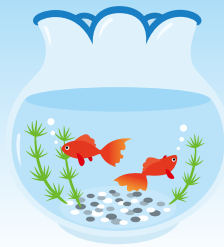




中央区環境情報誌



中央区ホームページ <http://www.city.chuo.lg.jp>

中央区の森の魅力を紹介します!



大羽山山頂からの景色

「中央区の森(数馬地区)」を訪れた人が楽しくかつ安全に散策していただけるよう案内板などを設置しました。
森の入り口に設けた案内板には、「中央区の森」の地図や森で見られる植物・野鳥を紹介しています。また、炭焼き小屋やぬた場(動物の泥浴び場)、大羽根山山頂にも設置し、その場で情報を知ることができるようになりました。



中央区では、平成18年度から、広域的な地球温暖化対策として、森林を荒廃から守り・育てるため、「中央区の森」事業を進めています。
「中央区の森(数馬地区)」に案内板を設置しました。

見どころその③
大羽根山山頂
ぬた場を抜けると、10分程で標高992mの大羽根山山頂に到着します。御前山(標高1405m)をはじめとする山々や尾根を望むことができます。

見どころその②
ぬた場
登山始めて50分程、周囲の景色が針葉樹林から広葉樹林へ変わってきるところに「ぬた場」があります。ぬた場とは、山の中にある窪地に水がたまったところです。野生動物が体についている虫などを取るために泥浴びをします。ここではイノシシやシカの足跡体をとることに、幹が削られた樹木など動物の痕跡がよく見られます。

見どころその①
炭焼き小屋
檜原街道沿いの入口から登山開始とすぐスギの林の中に炭焼き小屋が見えてきます。これは平成20年度に復元をしたもので、毎年地元NPOの方々が炭焼きを実施しています。作業の一部は「中央区の森体験ツアー」にも取り入れてあります。出来上がった炭は区内のデイキャンプ場にて活用されています。



ガイドマップには、今回紹介した「中央区の森(数馬地区)」の見どころのほか、散策ルートや「中央区の森(数馬地区)」で見られる動物植物の情報、植物の見分け方、森の育て方などさまざまな情報が盛りだくさんです。皆さんもこのガイドマップを手にとってみてはいかがでしょうか。
ガイドマップは、区役所7階窓口で配布しているほか、ホームページからもダウンロードできます。
●問合せ先
環境推進課 環境活動係
☎(3456) 5654



ガイドマップ配布中!

緑化スペースは、花壇・プランターなどが約94㎡、芝生が約126㎡。花壇では、季節の花、ハーブやブルーベリーを育て、プランターでは、イチゴ、キャベツ、ミニトマト、ナス、枝豆、ピーナツなどを育ててきました。プランターは、ダイコンなどの根の長い野菜も育てられるように、十分な深さに設計されています。
こうした植物の生育を観察しながら食育にも関心を持ってもらおうと、収穫したイチゴを使ってジャムを作ったこともあります。野菜などが獲れすぎた場合は、お土産にする場合ももちろんあります。水遣りや雑草取りは、生徒のボランティアによって行われ、芝生で

区では、緑豊かな都市景観を創出し、良好な生活環境の保全やヒートアイランド現象の緩和を目的として、住宅、事務所、学校などの施設の緑化を推進しています。
今回訪問した区立銀座中学校は、平成24年7月に屋上を緑化整備し、授業の一環として数々の活動に取り組んでいます。
この屋上緑化のきっかけとなったのが平成24年に始めたミツバチの飼育です。ハチが住める環境は人間にとってもよい環境であることを生徒に知ってもらうために始めましたが、それを植物についても学習してもらおうと屋上緑化を進めました。平成24年度から必修となった「生物育成に関する技術」も大きな弾みとなりました。



ミツバチ飼育をきっかけに

銀座中学校の屋上緑化



緑化スペースは、花壇・プランターなどが約94㎡、芝生が約126㎡。花壇では、季節の花、ハーブやブルーベリーを育て、プランターでは、イチゴ、キャベツ、ミニトマト、ナス、枝豆、ピーナツなどを育ててきました。プランターは、ダイコンなどの根の長い野菜も育てられるように、十分な深さに設計されています。
こうした植物の生育を観察しながら食育にも関心を持ってもらおうと、収穫したイチゴを使ってジャムを作ったこともあります。野菜などが獲れすぎた場合は、お土産にする場合ももちろんあります。水遣りや雑草取りは、生徒のボランティアによって行われ、芝生で

は簡単に操作ができる芝刈り機を導入し、生徒が手入れしています。夏の暑い日は、芝生の上の温度が、そうでない場所より低いことを生徒も実感できるそうです。
また、福島県の中学校から寄贈された菜の花の苗200ポットをプランターに植栽し、成長した菜の花から種を採って、ミツバチの密源である花を増やそうとしています。
飼育・育成を通じて、「優しい子供たち」を

こうした活動は、授業の一環のほか、生徒のボランティアによっても行われていますが、生徒の父親で構成されている「父親の会」も参加しています。
管理・維持のうえで気になるのは暑さで周囲をビルに囲まれた環境では屋上の温度は高く、夏などは40度を超えます。屋上でミツバチを飼育するには厳しい環境のため、校庭の片隅で飼育しています。開始から3年目。収穫できる蜂蜜の量も増えてきました。また、緑地で育てた草花や苗を地域に分けたり、近隣の公園に植えることも考えています。そのためにも、日常的な生徒のボランティア活動が欠かせません。
生き物や草花の飼育・育成を通じて、環境を考える「優しい子供たち」に育って欲しいと先生たちは考えています。

中央エコアクト

認証事業所・第33号

テイ・オー・オー株式会社

まずはできることから意識改革。エコアクトでさらなる省エネを!

中央エコアクトは、区内の中小規模の事業所において、地球温暖化対策を進めるための取り組みです。事業所の状況に合わせて、CO₂削減計画を立て、それに沿って省エネ活動や従業員への環境教育を実施することで、事業活動にともない排出されるCO₂や光熱費の削減を図ります。

ビルや施設の運営・企画・管理・診断・改修工事を手がけるテイ・オー・オー株式会社は、平成元年の設立。オフィシャルビル、公的施設、ホテル、病院など、幅広い管理物件へ



▲省エネの取組について語る
川尻社長(右)と菅原営業部グループリーダー(左)

「省エネに向けてどのような取り組みを始めたか。」

まず東京都の省エネ診断を受けました。結果は非常に厳しいもので、現場は一生懸命頑張っているのに、本社がこれではいけないと思いい、21年7月に省エネ実行委員会を設立し、社員の意識改革を始めました。省エネ実行委員会の主導で、「見



▲エレベータースイッチのステッカー

える化」やスイッチの入切などの運用改善からはじめ、省エネ機器への更新まで、一通り実行し、節電効果も上がってきたところで東日本大震災とその夏の厳しい節電を経験し、さらには、空調機の入替えにも取り組み始めました。

LEEDのデモスペース
LEEDのデモスペース
LEEDのデモスペース



▲電気自動車

具体的にはどのような取り組みをされましたか。

「社員の方やお客様の反応はいかがでしたか。」

上下のフロアを使い、電気自動車の購入も行いました。電気自動車の導入により、ガソリンの使用によるCO₂の排出量は、25年には22%削減できました。

「今後はどのような取り組みをお考えですか。」

現在の取り組みを、より社内外に広げたいと思っています。電気使用量の「見える化」とその運用改善の継続、ゴミ量の削減、社用車燃料の削減を考えています。また、お客様に対しては、これまで以上に効果的な取り組みをしていきたいと考えています。

問合せ先 環境推進課 (3546) 5628

引き続き節電・省エネを!

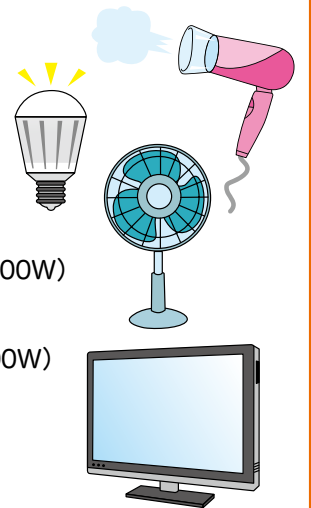
東日本大震災以降、皆さんの節電への関心は高まり、その取組は現在も引き続き実行され、定着がみられます。

夏場はエアコンの使用により電力消費が増大しますが、一人ひとりの節電行動で大きな効果をあげることができます。熱中症などには注意して、無理なくできる節電・省エネを心がけ、環境にやさしい行動をしましょう。

家庭にある家電製品の消費電力

家庭にある家電製品の消費電力です。消費電力が多い製品の同時使用や、電気使用が多い時間帯を避けて使用しましょう。

- 電子レンジ.....(1400W)
- ジャー炊飯器(電気炊飯器).....(1300W)
- 掃除機.....(1000W)
- ドライヤー.....(1000W)
- エアコン(10~15畳).....(750~1100W)
- 洗濯機.....(400W)
- 冷蔵庫.....(200~300W)
- 液晶テレビ.....(50W)
- パソコン.....(45W)
- 扇風機.....(34W)
- LED電球.....(8W)



出典「家庭の省エネハンドブック」東京都

東京電力のお得な無料インターネットサービスをご存知ですか?

■でんき家計簿

一般家庭向けのサービスで、毎月の電気使用量や料金をはじめ、ライフスタイルに合った料金メニューや省エネのアドバイスがインターネットで簡単に確認できます。詳しくはホームページをご覧ください。

<http://www.tepco.co.jp/e-rates/index-j.html>

■ビル・事業所向けの専用ページ

電気使用実績(過去2年間分)をはじめ、請求書が到着する前に電気料金を確認できます。さらに、料金メニューの試算や節電レベル比較もできます。詳しくはホームページをご覧ください。

<http://www.tepco.co.jp/e-rates/corporate/members.html>

小型家電の

回収を始めました

区では、区内小学校などで毎週土曜日に行っている資源の拠点回収で、用になった小型家電の回収をしています。

貴金属やレアメタルなどの有用金属のリサイクルを推進するため、ぜひ、ご利用ください。

●回収場所及び回収日時
別表1のとおり

●回収方法
回収場所に設置する回収箱に投入してください。

●持込上の注意
●回収箱の投入口(縦10センチメートル×横25センチメートル)を超える品物は回収できません。

●回収品目以外のものは回収できません。(袋や箱はお持ち帰りください。)

●回収箱に入れた品物はお返しできません。

●乾電池類は取り除いてから出してください。

●家庭から出たものに限ります。事業所から出たものは持ち込まないでください。

●問合せ先
中央清掃事務所
清掃事業係
☎(3562) 1523



別表2 回収する小型家電一覧(12品目)

京橋地域	日本橋地域	月島地域(※2)
毎週土曜日 午前9時30分～ 11時30分	毎週土曜日 午前9時～11時	毎週土曜日 午前10時～正午
城東小学校 泰明小学校 中央小学校 明石小学校 京橋築地小学校 明正小学校(※3) 銀座中学校	常盤小学校 日本橋小学校 有馬小学校 久松小学校 阪本小学校 日本橋中学校	佃島小学校 月島第一小学校 月島第二小学校 月島第三小学校 豊海小学校

※1 牛乳パック・食品用トレイ・布類・廃食用油・蛍光灯・乾電池・園芸用土の回収も行っています。
※2 ほっとプラザはるみでは布類のみ回収しています。
※3 改築工事のため、越前堀児童公園で実施しています。

クリーンデーが行われました!

中央区では、平成3年から5月30日(ごみゼロの日)に近い日曜日に、区民や事業者の皆さんのご協力で区内の一斉清掃「クリーンデー」を実施しています。今年度は、5月25日に実施し、250団体16,000人を上回る方々のご参加をいただき、無事終了しました。

今回は、クリーンデーのスタート時から参加している中洲町会にお邪魔し、活動の様子を拝見させていただきました。朝9時前、清洲橋通りに面した金比羅宮に三々五々、参加者の皆さんが集まりました。9時ちょうど、宮下二雄副会長の挨拶の後、ちり取り、収集袋を手に入れ、それぞれの持ち場に向かいます。作業中の方々の声を聞きました。二人のお子さんと一緒に参加したお母さんは「子供たちは遊びのように楽しんでますよ。こうやって掃除していると声をかけてくれる人もいるので、それが励みになるようです」

5、6年前から参加している、マンションの理事長さんは「こういうイベントは、町内の方同士のおつきあいの場として大事ですね。ご高齢の方のおつきあいの場が広がりますから、同じマンションの人にも声をかけていますよ」



第11回エコまつり&フリーマーケット

6月1日(日)、中央区保健所とあかつき公園で「第11回エコまつり」が開催されました。今年のテーマは「知ろう! やろう! 私たちができるエコ」。自然保護やリサイクル、ゴミの減量など、さまざまな環境問題について子どもから大人まで楽しみながら学ぶことができる恒例のイベントです。

あかつき公園で開催されたフリーマーケットでは、70店舗が店を並べ、午前10時の開場直後から家族連れでおおいに賑わいました。公園ではほかに、ゲーム感覚で覚えらる「ごみ・資源の正しい分け方」、実際に自転車に乗っているような感覚の「自転車シミュレーター」や「安心・安全なエコ野菜の販売」、子どもが運転席に座れる真っ赤な「江戸バス」が展示されたりと、バラエティ豊かなイベントが繰り広げられました。

なかでも毎回大人気なのが、粗大ごみでまだ使えるものを修理して無料で提供する「ごみの中からこんなもの展」と「リサイクル自転車」抽選販売会。希望者が多い場合は抽選とあつて、当たった人たちは大喜びでした。

中央区保健所では、「中央区の森」の間伐材でアロマツリーを組み立てるブース、アクリル繊維でたわしを作るリサイクル教室が、子どもにも大人にも人気を呼んでいました。



「リサイクル自転車」抽選販売会



フリーマーケット会場



檜原村ブース



アロマツリーづくり



緑は人々に憩いや安らぎを与えるとともに、地球温暖化や都市部のヒートアイランド現象の緩和に寄与する...



「水とみどりのふれあいマップ」をご利用ください。特別出張所などで配布しています。マップでは、区内の街路樹や公園、河川、運河などを表示する...

環境情報センターイベントスケジュール

環境情報センターでは、今年の夏も楽しいイベントや講座が盛りだくさん！ぜひ遊びに来てください。

Table with 5 columns: Date, Title, Content, Instructor, and Target Audience. Lists various environmental events and workshops from July to August.

7月8日(火)の講座の申込みは6月3日(火)から、他は7月11日(金)から受付開始です。●問合せ先 環境情報センター ☎03(6225)2433

環境情報センター登録団体紹介

まちふね みらい塾

代表理事 高松 巖 常務理事 阿部 彰

かつての江戸のように、川を身近な存在に取り戻し、環境も含めた街づくりを進めよう。これが「まちふね みらい塾」設立の主旨です。

川から東京の街を眺めて、歴史、環境、文化や街の在り方から東京の未来などを学ぶ観察会は、前身時代から60回以上を数えます。

ミュージアム」にも出展しました。環境情報センターでは活動の展示も行っています。「景色はもっとも大切な環境。ふねが浮かぶ川を通じて、子供たちが胸を張ってふるさとは中央区、と言える街づくりを進めていきたい」と語ってくれました。



中央区森の応援団

会長 安西 暉之 副会長 菊田 正行 副会長 青柳恵美子 事務局長 中島 憲一

中央区森の応援団は、地球温暖化対策事業として設置された「中央区の森環境ふれあい村推進協議会」に参加している区民委員が中心となり、平成25年4月に発足しました。現在の会員数は、35名。区民・町会・企業の協力を得ながら中央区と協働しています。

報『こもれび』を通じて活動の様子を発信しています。「中央区の森と檜原村を知っていただくためのバスツアーをこの秋に予定しています。次年度以降、多くの団体に行っていただけるよう、今回は幹事の方々の視察ツアーとして企画しています」と中島憲一事務局長。檜原村との交流を通じた環境活動に意欲を燃やしていました。



採ることができた魚たち

Table showing fish species caught at various locations in Chiyoda Ward. Columns include location names and counts for each species.

●問合せ先 環境政策課 環境計画調整係 ☎(3546) 5407



『川の中の生き物たち』のパンフレットを作成しました。区では、河川環境を把握するために、5年毎に区内の河川や運河8地点において魚類、水生生物、底生生物などの水生生物調査を行っています。平成25年7月22日～24日に行った調査結果をもとに河川...